

3 地区全体会議（第4四半期）

お試しノウフク事業 成果報告資料（平塚地域）

令和6（2024）年 3月21日（木）

特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンター

理事長

坂田 美保子

理事

長谷川 正幸

プロジェクトマネージャー

関谷 育雄

1 成果報告

- お試しノウフク実施回数 7回
- マッチング件数 6件 ※3件は、お試しノウフクを経ないでマッチング成立

○農家名、施設名・所在地

農家

- 山田黄三 平塚市御殿1-25-32
- 笹尾美香 平塚市南原2-9-27-3
- 大森 純 平塚市東真土3-4-3-4
- 石井 毅 伊勢原市伊勢原4-556
- 和田弘基 伊勢原市田中1210
- 関谷育雄 平塚市岡崎500
- 桐原美穂 茅ヶ崎市東海岸南6-6-17 ※4月より大磯移転予定
農地（大磯町西小磯穴虫谷戸）

B型事業所

- 「キルクももはま」（代表 椎野淳子） 平塚市桃浜町2-36
- 「みんなの家ミミ」（代表 足立悠介） 平塚市横内3784-3
- 「クオケア（KUOKEA）」（代表 村上賢司） 平塚市明石町21-6 2F
- 「グランス平塚」（代表 宮代雄介） 平塚市明石町9-2
- 「かたつむりの家」（代表 野口富美子） 中郡大磯町生沢293-1
- 「ココルポート」（担当 押見 梨香） 平塚市明石町10-3 3F

2 お試しノウフク及びマッチング実施記録①

①期日 6月22日(木)

事業所 「みんなの家ミミ」

農家 「笹尾農家(玉ねぎ)」 玉ねぎの皮むき

参加者 利用者 5名 事業所スタッフ2名

農福連携コーディネーター1名 ボランティア2名

作業内容 玉ねぎの皮むき、袋詰め

マッチング内容

平日の収穫があった日に、農家が福祉事業所に玉ねぎを搬入し、作業をして完了後農家が受け取りに行く。



2 お試しノウフク及びマッチング実施記録②

②期日 7月20日(木)

事業所 「クオケア」

農家 「大森農家」

参加者 利用者 1名 事業所スタッフ2名

農福連携コーディネーター1名

※7月14・17・18・19日も実施

作業内容 エンサイ(空芯菜)・キュウリの袋詰め

マッチング内容

7～10月初旬の平日10時～12時ころまで、大森農家のハウス内で施設外就労。



2 お試しノウフク及びマッチング実施記録③

③期日 7月24日(月)

事業所 「みんなの家ミミ」

農家 「和田農家(果樹園)」

参加者 利用者 4名 事業所スタッフ1名 農福連携コーディネーター1名

作業内容 果樹袋の底板入れ

マッチング内容

7月・8月の適時にビニール袋と底板を福祉事業所が受け取り、施設内で作業して農家に搬入する。



2 お試しノウフク及びマッチング実施記録④

④期日 11月9日(木)

事業所 「クオケア」「グランズ平塚」

農家 「関谷農家」

参加者 利用者 4名 事業所スタッフ2名 農福連携コーディネーター1名

作業内容 エンサイ(空芯菜)の収穫及び袋詰め

マッチングは来年度決定する



2 お試しノウフク及びマッチング実施記録⑤

⑤期日 2月2日(金)

事業所 「かたつむりの家」

農家 「桐原農家」

参加者 利用者 2名 事業所スタッフ1名

作業内容 乾燥ハーブの袋詰め

マッチングは来年度決定する



2 お試しノウフク及びマッチング実施記録⑥

⑥期日 2月7日(水)

事業所 「グランス平塚」 「ココルポート」

農家 「笹尾農家」

参加者 利用者 5名 事業所スタッフ1名 農福連携コーディネーター1名

作業内容 サツマイモの袋詰め

マッチングは来年度決定する



2 お試しノウフク及びマッチング実施記録⑦

⑦期日 2月14日(水)

事業所 「グランス平塚」 「ココルポート」

農家 「大森農家」

参加者 利用者 3名 事業所スタッフ1名 農福連携コーディネーター1名

作業内容 ブロッコリーの袋詰め

マッチングは来年度決定する



3 マッチングのみ成立記録

成立日 4月21日（金）

事業所 「キルクももはま」

農 家 「山田農家（露地野菜）」

契約内容 エンサイ（空芯菜）の袋詰め。

朝、福祉事業所が農家が収穫したエンサイを受け取り、施設内で袋詰めをし、出荷まで行う。
7月初旬～10月初旬の平日の週3日間実施。

成立日 7月11日（月）

事業所 「みんなの家ミミ」

農 家 「石井農家（果樹園）」

契約内容 果樹袋の底板入れ

7月・8月の適時にビニール袋と底板を福祉事業所が受け取り、施設内で作業して農家に搬入する。

成立日 12月19日（火）

事業所 「キルクももはま」

農 家 「笹尾農家（露地野菜）」

契約内容 長ネギ袋詰め

12月の適時に土ネギとむきネギを福祉事業所が受け取り、施設内で作業してJAに納品する。

4 新規就労者数

日数及び人数、のべ人数

- ・「キルクももはま」と「山田農家（エンサイ）」
 - 平日週3回 6月 1日×3人 = 3人
 - 7月 19日×3人 = 57人
 - 8月 17日×3人 = 51人
 - 9月 17日×3人 = 36人
 - 10月 6日×3人 = 18人
- ・「みんなの家ミミ」と「笹尾農家（玉ねぎ・エンサイ）」
 - 平日 7月 8日×6人 = 48人
 - 8月 10日×4.5人 = 45人
 - 9月 5日×6人 = 30人
- ・「みんなの家ミミ」と「石井農家（果樹袋作成）」 7月 4日×8人 = 32人
- ・「クオケア」と「大森農家（エンサイ）」※施設外
 - 平日 7月 8日×2人 = 16人
 - 8月 14日×2人 = 28人
 - 9月 11日×2人 = 22人
 - 10月 4日×2人 = 8人
 - 11月 9日×1人 = 9人
 - 12月 9日×1人 = 9人
- ・「みんなの家ミミ」と「和田農家（果樹袋作成）」平日
 - 8月 10日×5.5人 = 55人
- ・「キルクももはま」と「笹尾農家（長ネギ）」 12月 5日×5人 = 25人

合計 のべ492人

5 今後の予定

- ・ **大森農家とレインツリー（伊勢原市） ⇒ 3月22日（予定）お試しノウフク**

作業内容 施設内就労でブロッコリーの袋詰め

- ・ **さくらの家福祉農園（伊勢原市） ⇒ お試しノウフク**

作業内容 施設外就労でブロッコリー、エンサイ等の袋詰め

- ・ **中村農家（伊勢原市） ⇒ お試しノウフク**

作業内容 自然薯（じねんじょ）の栽培作業、草むしり ※地理的な面でなかなか結びつかない

- ・ 田園調布学園大学**社会福祉専攻のボランティア学生**の参加

- ・お試しノウフク開催チラシを作成・配布（6月）
- ・伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会就労支援部会講演会の講師参加（9/4）
- ・平塚市における農福連携フォーラム開催（県社会福祉士会と共催）（9/23）
※100名近い参加者
- ・農業新聞で、エンサイの農福連携の取組みが紹介されました。




神奈川県 令和5年度実施 随時開催 就農体験会 (お試しノウフク) 参加者募集!

募集地域 平塚市・伊勢原市・大磯町・二宮町

神奈川県では、農業で働く新たな人材の確保や障害者等の就労や生きがいの場を生み出すため、農福連携マッチング等支援事業に取り組んでいます。農・福祉双方から「本格的なマッチングの前にちょっと試してみたい!」とお声を受け、今年度は、農業者の指導のもと、障がいのある方が農作業を体験する就農体験会(お試しノウフク)を実施します。今注目されている農福連携について、あなたもチャレンジしてみませんか?

農 農業者の方 農作業の体験 農業者の確保 事業の拡大・維持

福 福祉施設の方 就労の場の確保 資金の向上

神奈川県・湘南NPOサポートセンター (農福連携コーディネーター)

※この就農体験会は「農業と障害福祉サービス事業所等とのマッチング」を兼ねており、体験を通じて実際の活動的に関わっていくことを目的としています。体験内容は農での体験や収穫・種まきなどのお手伝い、施設内作業を持ち込んで試みるなどの作業を、半日程度行うことを想定しています。

実際の体験内容と開催日時は農家・福祉施設それぞれのご希望の状況によって調整させていただきます。

農家のみさんへ 手伝って欲しい農作業を実演交えて教えていただきます。講師費もご用意しています。参加者の作業内容に納得されれば報酬にも結び付けられます!※※ 各団体の就農体験会には、農福連携コーディネーターが付き添いますので安心です。

障がい者福祉サービス事業所のみさんへ 自然や緑の中で農作業を、利用者さんの自立の第一歩にしてみませんか?参加料は無料です!まずは体験を通じて実際の関わり合いに慣れていただきます。各団体の就農体験会には、農福連携コーディネーターが付き添いますので安心です。

まずはご相談ください! 詳しくは下記まで「お試しノウフクのチラシを見ました!」とお気軽にお問い合わせください!

お問い合わせ NPO法人 湘南NPOサポートセンター
URL <https://noufuku-hiratsuka.jimdoofree.com/>
TEL 070-6662-2455 E-mail shonan@snposc.org



農福

平塚市における 農福連携フォーラム ~ 農福連携の課題と展望 ~

農業従事者の高齢化等による地域農業の担い手不足が深刻になっています。一方、障がい者の自立に向けた働く場の確保が長年の課題となっており、新型コロナウイルスでさらに深刻化しています。農福連携事業は、「農」と「福祉」の双方の課題解決とメリットがあるWin-Winの取組です。フォーラムでは、平塚市で広がっている農福連携の取組を紹介するとともに課題と展望をご報告し、参加者と共有したいと思います。

開催日時: 令和5年9月23日(土) 14:00~16:30 (開場 13:30)

講演会講師: 東海大学教授 濱田 健司 氏
~ 農福連携の事例紹介 ~
登壇者: 農業経営者・福祉施設関係者・農福連携コーディネーター
会場と定員: ひらしん平塚文化芸術ホール・多目的ホール (先着順 80名) 参加費無料

会場案内
早稲町 徒歩約 16-1 3分 平塚駅前から徒歩9分 (自動車でお越しの方) 近隣の駐車場がございます。近隣の駐車場をご利用ください。 (車で参加される方) ※ 近隣の駐車場「早稲町」出口から徒歩 8 分 (1分程度乗車可能) 神奈川中央交通「早稲町」から徒歩 2 分 または、神奈川中央交通「和光町」から徒歩 4 分 (自転車) 電車路線図 (有料) は、施設内 (水-土) まで

神奈川県社会福祉士会 公益社団法人化10周年記念フォーラム
共催: 湘南NPOサポートセンター・神奈川県社会福祉士会 湘南西支部
お申し込み方法: 裏面のご案内からお申し込みください。




米保管環境が向上

栽培推進 産地化めどず

「神奈川県農業振興センター」が、今年から初めて「産地化推進」を推進している。産地化とは、産地での生産と消費を促進すること。産地化推進は、産地での生産と消費を促進すること。産地化推進は、産地での生産と消費を促進すること。

緑地帯

緑地帯の整備は、環境の保全と防災に役立つ。緑地帯の整備は、環境の保全と防災に役立つ。緑地帯の整備は、環境の保全と防災に役立つ。

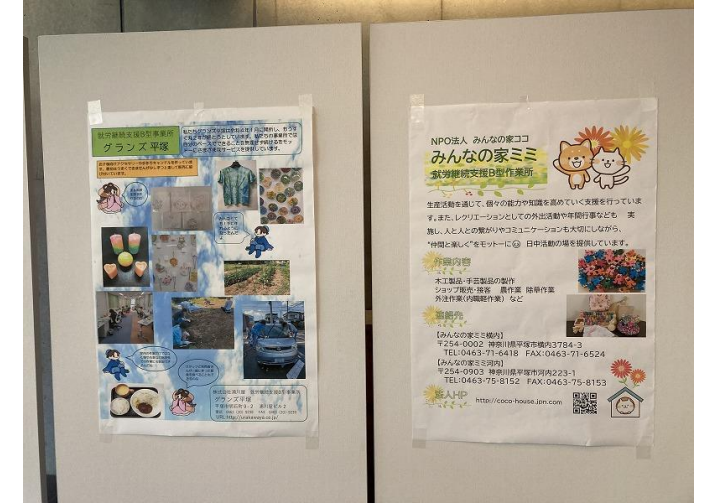
果実盗難防止

果実盗難防止のための対策が、農業者の間で広がっている。果実盗難防止のための対策が、農業者の間で広がっている。果実盗難防止のための対策が、農業者の間で広がっている。

6 その他（啓蒙活動）

- ・ 県更生保護大会（平塚文化芸術ホール）で農福マルシェ実施（11/22）

※ 1時間半程度の時間で38,000円の売り上げ！



- ・ 伊勢原市障がい福祉課主催 就労支援部会 でお試しノウフクについて意見交換（1/10）

- ・ 農福連携フォーラム研修会を開催（県社会福祉士会主催）（2/18）

※ 35名ほどの参加者



その他（啓蒙活動）

- ・ 農福連携のHPを作成 ※県HPからも検索可

なぜ農福連携なのか？

事業の内容と当法人の役割

コーディネーターの役割

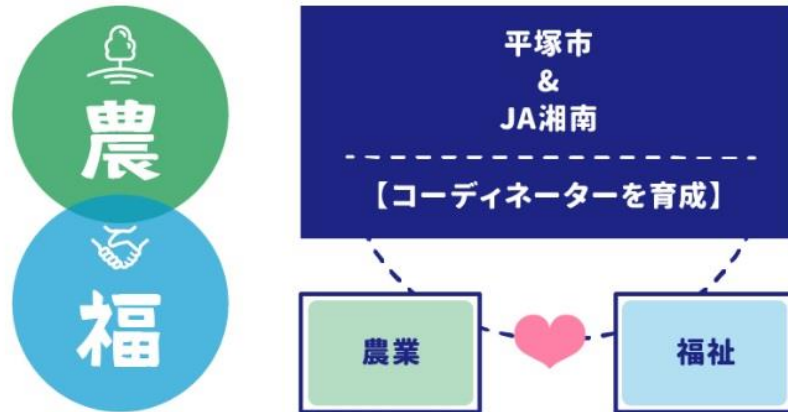
サステナブル（持続可能）な地域社会の実現のために

農福連携事業

2010年に鳥取県、2011年には香川県が、農福連携の取組みを開始し、2016年に政府が定めた1億総活躍プランにおいて、農福連携の推進が盛り込まれました。

それを受けて、神奈川県では「ともに生きるかながわ憲章」の理念をもとに「ともに生きるかながわ」の実現に向け、令和2年度「農福連携マッチング等支援事業」を、平塚・藤沢・秦野の3地区をモデル地域として設定し開始しました。

その枠組みは神奈川県・各自治体と関連部署・JA及び中間支援組織（NPO法人等）が連携して、コーディネーター育成を通じて農福連携を推進するものです。（令和4年度まで）



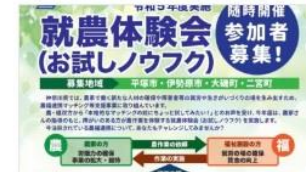
関連トピックス



平塚市における農福連携フォーラム～農福連携の課題と展望～開催のお知らせ

2023年7月26日

農業従事者の高齢化等による地域農業の担い手不足が深刻になっています。一方、障が [...]



令和5年度実施「就農体験会 (お試しノウフク)」ま ずはご相談ください。

2023年6月28日

神奈川県では、農家で働く新たな人材の確保や障害者等の就労や生きが いづくりの場を生 [...]



令和4年度「農福連携スタディーツアー」に行ってきました

2023年3月16日

2023年3月7日（火）9:00～14:00 令和4年度農福連携スタディーツアーは [...]



農福連携フォーラム開催！ 令和5年1月28日（土）

2022年12月14日

令和4年度 神奈川県農福連携マッ



農福連携マッチング等支援事業（マッチング事例報告）

2022年9月3日



令和4年度「農福連携コーディネーター養成講座（連続2回講座）」開催報告（5/14、6/18実施）

7 農福連携を実施してみたの感想（アンケートより）

- ハウスまで来て作業をしてくれてめちゃくちゃ助かります。袋詰め以外にも、サトイモのけばとりとかネギの皮剥ぎなどの軽作業もやってくれます。（A農家）
- まだまだ課題があるんですが、お互い歩み寄りながら今後も一緒に作業させていただければと思います。できれば施設外就労で来られる事業所を希望します。そうすれば欠株を補う植え付けとか草取りもお願いできる・・・。（B農家）
- エンサイの袋詰めは、一人で行うと意外と時間がかかるので施設内就労でもやっていただいて収量アップにつながりました。来年度も期待しています。（C農家）
- 思っていたより作業が速くておどろきました。このくらいできれば来年度も引き続き依頼しようと思います。ありがとうございました。（D農家）
- 利用者みなさんが思っていたよりスムーズに作業できるのに驚きました。今後のマッチングが楽しみです。（E農家）
- 自分一人で農業をしていると寂しくなるときがありました。この度の「お試しノウフク」でなにか楽しくなりそうで良かったです。（F農家）

7 農福連携を実施してみたの感想（アンケートより）

- どの作業も経験がなく新鮮で、楽しく取り組むことができました。我々が行っている作業を普段は一人もしくは家族のみなど少人数で行っていることを考えると、農家さんは大変だと考えさせられました。少しでも農家さんのお手伝いできればとの想いで今後も取り組んでいけたらと思います。（A福祉事業所）
- 野菜に触れる作業ができ、また、やればやるだけ収益も上がるので利用者さんは楽しく取り組んでいました。是非来年度もお願いできればと思います。（B福祉事業所）
- 農家さんが太っ腹で大きくかまえてくださったので安心して作業ができました。利用者が少なくて申し訳なかったです。（C福祉事業所）
- 作業内容が具体的によくわかりました。このような機会を与えていただきスタッフの皆さんに感謝です。是非マッチングが成立できればと思います。（D福祉事業所）
- 利用者さんが前向きに取り組んでいるので安心しました。農業が就労に向けての一つのステップになってくれるとありがたいです。（E福祉事業所）

○情報収集は、適材適所から

各農家の実情をよく知るJA湘南の職員（平塚・伊勢原）からたくさんの情報をいただき大変助かった。また、福祉事業所の情報について、今年度は伊勢原市の会合に2回出席させていただき、農福連携について説明させていただいた結果、新たな事業所を紹介していただくとともに平塚及び湘南支援学校とのつながりもでき、今後の展開に期待がもてた。さらに、平塚地方卸売市場との交渉も視野に入ってきた。

このように関係者のネットワークが深まり情報が集まりやすくなってくると、その間のネットワークが密になり農福連携の交流会でもマッチング例が増えると思われる。

今後は他市のJAや行政、またコーディネーターにも協力していただき情報収集に努めていきたい。

○令和7年度以降の取組について

農福連携事業は、国レベルでも推進されているがまだまだ社会に認知されていないと思われる。今後、多くの農家や福祉事業所がその意義（共生社会の実現）やメリットを知ることが大切であるが、市民や企業がその価値を理解・認知することが重要と考える。そのためには、農福連携コーディネーターの方々にも協力していただき、いろいろな場面で農福連携についてPR活動をおこなっていきたい（各種団体主催の講演会の実施、農福連携マルシェの実施、等）。

来年度の「お試しノウフク」の次のステップ（ステージ）に期待しつつ、事業を推進していくことを願っている。